

令和4年度 「体験活動普及啓発事業」 ファミリーキャンプ⑤

- 1 趣 旨 自然体験・生活体験等を通して、家族の絆を深めるとともに、子どもの豊かな情操を養う。また、書道に親しむことで、自己肯定感や想像力を育む機会とする。
- 2 期 日 令和4年10月9日（日）～10日（月・祝）1泊2日
- 3 参加対象 体験活動に興味のある家族
- 4 募集定員 10家族40人程度
- 5 参加者 9家族33人（申し込み：70家族）
- 6 指導者 鹿児島県立鹿屋高校書道部員9人
国立大隅青少年自然の家職員3人
- 7 日 程



10月9日（日）	10月10日（月・祝）
12:50 受付	6:30 起床
13:10 出合いのつどい	7:30 テント撤収・退所点検
13:30 野草で和紙作り体験	8:00 朝食「ホットサンドメーカークッキング」
16:00 野外炊飯「秋シチュー」	9:30 書道パフォーマンス体験
19:30 ハンモック体験・家族の時間・テント設営 入浴（19:30～20:30）	12:00 別れのつどい・アンケート記入 解散
22:00 消灯・就寝	

8 事業運営上の配慮

- 家族ごとでも行動ができるようにしおりに詳細を記入し、事業の初めに読み合わせを行った。
- 少人数の家庭が多かったため、家族間の交流が持てるように、事前に了承をとり2家族で1釜の炊飯を行った。
- 参加者の移動の負担を減らすためになるべくクラフト室Aで完結できるよう、動線を計画した。

9 参加者の感想

- どの活動も楽しく活動できました。書道パフォーマンスもめったにできない活動で楽しかったです。
- 多くの家族と共に活動ができ、いろいろな価値観を知れるので、世界が広がるので良いと思います。
- 書道パフォーマンスは初めて生で見ました。高校生も優しく教えてくれて、コツをつかみ楽しい思い出になりました。
- コロナ禍で泊まりがけで遊びに行くことがほとんどなかったので、子どもたちも嬉しそうでした。

10 成果と課題

- 家族のみでは体験できないような、本施設で活動する価値のある活動を実施することができた。
- 野草で和紙作り・書道パフォーマンス体験といった新しい体験活動を企画することができた。
- 申込の際に宿泊室とテント泊、どちらを希望するかを選んでもらい「宿泊室7割：テント泊3割」とファミリーのニーズに合わせた体験ができた。

